

令和 7 年度 「運営に関する計画」

大阪市立我孫子中学校

令和 7 年 4 月

大阪市立我孫子中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

昨年度は、以前見られた校内の「荒れ」は収まり、生徒たちは落ち着いた状態で学校生活を送ることができた 1 年であった。文化発表会や体育大会など、学校行事にクラスや学年、またその枠を超えて協力し、取り組む姿があらゆるところで見ることができた。

しかし、それに比して学力を上げることはかなわなかった。平均無答率の減少や、正答率 3 割以下の減少といったところに成果は見られたが、全体として前年を超える結果を出すことができなかった。ICT の効果的な使用法や授業研究等、来年度に向けて更なる県産が必要である。

不登校傾向にある生徒は、前年度と同程度で推移している。SSW や SC 等外部機関とも連携し、きめ細やかな対応に努めてきた。改善傾向にある生徒も出てきている。引き続き、生徒の自己有用感や自己肯定感を高める活動や、多様性を尊重する取り組み等を通じて、学校を「安心できる居場所」とする取り組みを進めていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○毎年度末の校内調査において、不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。

○令和 7 年度の校内調査の「学校の規則を守っていますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合を 98%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和 7 年度の大阪市英語力調査の中学校卒業段階での CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合を、60%以上にする。

○令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える生徒の割合を 60%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和 7 年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を、100%にする。

○第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教員の割合を、令和 7 年度末に 84.9%にする。

(基準 2…1 年間の時間外勤務時間が 720 時間以下、時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 6 以下、時間外勤務時間が 100 時間を超える月数 0、直近 2～6 か月の時間外勤務時間の平均が 80 時間を超える月数 0、をすべて満たす)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率を前年度(6.7%)より減少させる。

○年度末の校内調査における「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を97%以上にする。(前年度96.7%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○大阪市英語力調査におけるCEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を56.0%以上にする。(前年度47.8%)

○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を61%以上にする。(前年度60.4%)

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教職員の割合を70%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立我孫子中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】 ○年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率を前年度 (6.7%) より減少させる。 ○年度末の校内調査における「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 97% 以上にする。(前年度 96.7%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【1、安全・安心な教育環境の実現】 教育相談・校内アンケートを年 2 回実施する。 <div style="text-align: right;">(生徒指導部)</div>	
指標 ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 97% 以上にする。 <div style="text-align: right;">(前年度 96.1%)</div>	
取組内容② 【1、安全・安心な教育環境の実現】 週 1 回以上集会を実施し、「学校生活」について講話をする。 <div style="text-align: right;">(生徒指導部)</div>	
指標 ・年度末の校内調査における「先生は、自分の間違った行動には厳しく指導してくれる。」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を前年度よりも増加させる。(前年度 96.1%)	
取組内容③ 【2、豊かな心の育成】 ・将来の夢や希望を持てるようなキャリア教育を充実させる。芸術鑑賞を実施し、他者を思いやることのできる豊かな心を育成し、自己有用感や自己肯定感を高める。 <div style="text-align: right;">(生徒指導部)</div>	
指標 ・年度末の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思う。」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を 90% 以上にする。(新規質問項目)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立我孫子中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合(4 技能)を 56.0%以上にする。(前年度 47.8%) ○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 61%以上にする。(前年度 60.4%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【4、誰一人取り残さない学力の向上】 国語、数学、英語における習熟度別少人数授業を展開し、きめ細かな指導をする。 <div style="text-align: right;">(教務部)</div>	
指標 ・令和 7 年度のチャレンジテストの正答率 3 割以下の生徒を、どの学年も令和 3 年度より減少させる。	
取組内容②【4、誰一人取り残さない学力の向上】 C-NET と連携し、各学年月に 3 回程度の C-NET との授業を行い、英語に対する興味関心を醸成するとともに 4 技能の向上を目指す。 <div style="text-align: right;">(教務部)</div>	
指標 ・本校を準会場とした英語検定を複数回実施する。	
取組内容③【5、健やかな体の育成】 月 1 回、「食育だより」を発行する。また、食堂での展示食やホワイトボードでの啓発活動を通じ、食に関する意識を高める。 <div style="text-align: right;">(健康安全教育部)</div>	
指標 ・年度末の校内調査における「朝食を毎朝食べている。」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を前年度より増加させる。(前年度 89.3%)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立我孫子中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 ○授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。 ○第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 70%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【6、教育D Xの推進】 各教科において、ICT 機器を活用した授業を展開する。 <div>(ICT 委員会)</div>		
指標 ・授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。		
取組内容②【6、教育D Xの推進】 授業内容を Teams に投稿する。 <div>(教務部)</div>		
指標 ・生徒の提出物（ノート、学習プリント等）の提出率を90%以上にする。（前年度89%）		A
取組内容③【7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 行事予定に「ゆとりの日」を入れ、教職員の働きやすい環境を整備する。 <div>(管理職)</div>		
指標 ・毎月複数回「ゆとりの日」を設定する。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		